

三部研修会が開催されました！

12月1日（日）に福井県社会福祉センターにおいて開催されました。午前の全体会では、福井県防災士会の打谷由紀子氏と西端正和氏を講師に招いての講演でした。演題は「もしも避難生活をするようになったら」



能登地震の現状について、くわしい話をさせていただきました。



避難所グッズが展示されていました。感染症対策も重要です。



現在はいろいろな簡易トイレが普及しているそうです。



講師の先生方からの避難所グッズの説明を熱心に聞き入っています。

防災体験を行いました！

・アルファ米の試食（お湯を入れるだけ）・食器を作ろう（白い紙を使用しましたが、実際は新聞紙で充分）・水なし歯磨き（カンタン歯磨きシートを利用）

災害による直接死よりもその災害による関連死者数の方が多い場合もあるそうです。それは、避難所の生活が関係していると言われていています。薬が手に入りにくい状況、プライバシーに関する問題、トイレを我慢するために水分を控えようとする等、いろいろなことで大きなストレスがかかってくるからでしょう。こういう課題を少しでも解決していくことが大切です。

午後の体験会では、「歌って踊って心も体もリフレッシュ」「大人のぬりえ」「お正月向けリースをつくろう」の3つの体験に分かれて行われました。



この後、みんなでフォークダンスをしました。



みんなでフラダンスを鑑賞しました。



一例です。大人が楽しむぬり絵
-花・果物-



みなさん、ぬり絵に没頭しています。



いろいろな素材を利用したリースづくりです。



それぞれ工夫されたリースが完成しました。